BUFFALO

USBバスパワード ポータブルハードディスク
HD-PHGU2/UCシリーズユーザーズマニュアル

本製品の紛失・盗難等には十分ご注意ください

本製品の紛失・盗難・横領・詐取等により、第三者に個人情報が漏えいする恐れがあります。個人情報が第三者に漏えいしたために損害が生じた場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

1 付属品がすべて揃っていることを確認します。

確認した項目には✓を付けてください。

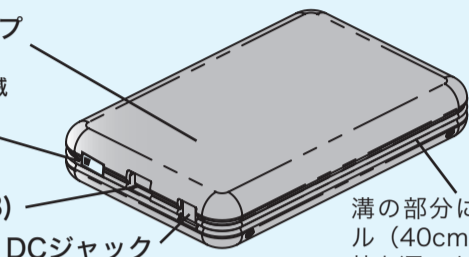
万一、不足している物がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

□**ハードディスク(本体)**..1台

パワー・アクセスランプ
電源ON時：緑色点灯
アクセス時：オレンジ色点滅

CDドライブモード変更スイッチ

USBコネクタ(Mini-B)

DCジャック

溝の部分にUSBケーブル（40cm）を固定して持ち運べます。

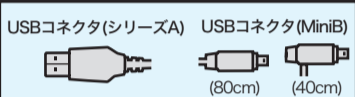
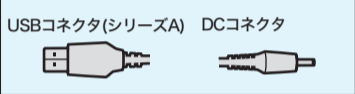
□**USBケーブル(80cm/40cm)**..........2本

40cmのケーブルは、ハードディスク本体に固定して持ち運ぶことができます。

ケーブルのコネクタ形状

USBコネクタ(シリーズA)　USBコネクタ(MiniB)　(80cm)　(40cm)

□**USB給電ケーブル**....................................1本

USBコネクタ(シリーズA)　DCコネクタ

✓**ユーザーズマニュアル(本紙)**..1枚

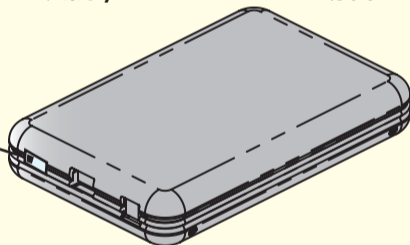
※ 本製品を梱包している箱には、保証書と本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されております。本製品の修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、大切に保管してください。

※ 別紙で追加情報が同梱されているときは必ず参照してください。

2 本製品のCDドライブモード変更スイッチをボールペンの先などで以下のように設定します。

■ WindowsXP/2000 Service Pack3 以降 /Me/98/98 Second Edition の場合
「1」に設定します

■ Windows2000 Service Pack2 以前 /Macintosh の場合
「OFF」に設定します。

CDドライブモード変更スイッチ
「1」にします。
※Windows2000 Service Pack2以前やMacintoshをお使いの場合は、「OFF」にします

CDドライブモードについて(Windowsのみ)

仮想CD/DVDドライブにCD/DVDまたはCD/DVDイメージファイルを登録すれば、本物のCD/DVDドライブやメディアなどを持ち運ぶ必要はありません。USBコネクタの横にあるスイッチを設定するだけで、パソコンからCD/DVDドライブと同じように認識されます。スイッチは、ボールペンの先などで設定してください。

※必ずパソコンに接続する前に設定してください。パソコンに接続しているときに設定を変更しないでください。

1　OFF　2

1(出荷時設定):「Utility」(CD-ROMドライブ)、お客様が登録したCD/DVD、ハードディスクを認識します。
2:お客様が登録したCD/DVDとハードディスクを認識します。
OFF:ハードディスクのみ認識します。

※Windows2000 Service Pack2以前をお使いの場合、スイッチを「1」や「2」にすると「Utillity」(CD-ROMドライブ)もしくはお客様が登録したCD/DVDしか認識されません。

※仮想CDの詳しい説明は、仮想CDユーティリティの電子マニュアルを参照してください。電子マニュアルを表示する方法は、P3を参照してください。

3 パソコン本体の電源スイッチをONにします。

ハードディスクはまだ取り付けないでください。

メモ

PC98-NXを使用している場合

「CyberTrio-NX」がインストールされている場合、[アドバンストモード]になっていることを確認してください。詳しくは、パソコン本体のマニュアルを参照してください。

4 本製品をパソコンに接続します。

WindowsXP/2000/Me

付属のUSBケーブルを使って、ハードディスクをパソコンのUSBコネクタに接続します。コネクタの形と向きに注意してください。
OS標準のドライバが自動的にインストールされます。

Windows98/98 Second Edition

本製品のドライバをインストールします。インターネットに接続できる場合は、下記の弊社ホームページからドライバをダウンロードしてください。ダウンロードしたファイルをダブルクリックすると「簡単セットアップ」が起動しますので、画面に従ってインストールしてください。

ダウンロード先インターネットアドレス
http://buffalo.melcoinc.co.jp/download/driver/hd/hd-phgu2-uc.html

インターネットに接続できない場合は、本紙うら面の「こまったときは」に記載されている「ドライバをダウンロードできない(Windows98/98 Second Editionのオートドライバインストール)」の手順でインストールしてください。

メモ

●「次の新しいドライバを検索しています」と表示されたときは？

「次の新しいドライバを検索しています(以下略)」というメッセージが表示されたときは、[キャンセル]をクリックして作業を続行してください。パソコンを再起動すると、自動的にドライバがインストールされます。

Mac OS 9.0.4～9.2.2

付属のUSBケーブルを使って、ハードディスクをパソコンのUSBコネクタに接続します。コネクタの形と向きに注意してください。

ハードディスク取り付け後にMacOS拡張フォーマットで初期化することをおすすめします。 そのままご使用になった場合、ファイル名に2バイトコード文字(全角文字)を使用するとパソコンが停止したり、ファイルが正常にコピーできないことがあります。
初期化の方法は、本紙うら面の「フォーマット(初期化)について」を参照してください。

Mac OS X

付属のUSBケーブルを使って、本製品をパソコンのUSBコネクタに接続します。コネクタの形と向きに注意してください。
本製品を接続すると、「セットしたディスクにMac OS Xで読み込めないボリュームが含まれています」という内容の警告メッセージ(日本語と英語、または日本語のみ)が表示されます。日本語のメッセージでは[続ける]、英語のメッセージでは[OK]をクリックしてください。
メッセージが消えたら、Mac OSを再起動します。
Mac OS X 10.0.4以降の場合は、再起動後に必ず本製品を初期化してください。初期化の方法は、本紙うら面の「フォーマット(初期化)について」を参照してください。

5 本製品が正常に動作しているか確認します。

WindowsXPの場合

[スタート]-[マイ コンピュータ]の順にクリックします。マイ コンピュータに(HD-PHGU2)とCD-ROMドライブが2つ追加されていることを確認してください。追加されていれば、正常に動作しています。

Windows2000/Me/98/98 Second Editionの場合

デスクトップの[マイ コンピュータ]をダブルクリックします。マイ コンピュータにのアイコン(HD-PHGU2)とCD-ROMドライブが2つ追加されていることを確認してください。追加されていれば、正常に動作しています。
※Windows2000 Service Pack2以前ではCD-ROMドライブは追加されません。

Mac OSの場合

デスクトップにアイコン(HD-PHGU2)(Mac OS 9の場合)または( )(Mac OS Xの場合)が追加されていることを確認してください。
追加されていれば、正常に動作しています。

メモ

●本製品が正常に認識されない場合は、以下のことを行ってください。
・USBケーブルが正しく接続されているか確認してください。
・Windows98/98 Second Editionをご使用の場合は、再度「簡単セットアップ」を実行してください。
・本製品をパソコンから取り外し、CDドライブモード変更スイッチを手順2のように設定してください。設定したら、パソコンに再度接続してください。

●本製品をパソコンから取り外すときは、必ずうら面の「取り外しかた」に記載されている手順で行ってください。

●パワー・アクセスランプが点灯しているのに、正常に認識されないときは、本紙うら面の「USB給電ケーブルについて」をご参照ください。

●WindowsXP/2000 Service Pack 3 以降/Me/98/98 Second Editionでは、ドライブの割り当て先を案内する画面が表示されます。

ハードディスクの破棄・譲渡・交換・修理時の注意

「削除」や「フォーマット」したハードディスク上のデータは、完全には消去されていません。お客様が、廃棄・譲渡・交換・修理等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。
万一お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしましても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
以下のような市販のソフトウェアを用いてデータを完全に消去するか、専門業者に完全消去作業を依頼することをおすすめします。

Acronis DriveCleanser（Acronis社製　販売会社プロトン）内蔵・外付ハードディスク用
DataGone(PowerQuest社製　販売会社ネットジャパン)　内蔵ハードディスク用
詳しくは、http://buffalo.melcoinc.co.jp/support_s/hddata.html をご覧ください。

※ソフトウェアを削除することなくハードディスクやパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますので、ご注意ください。

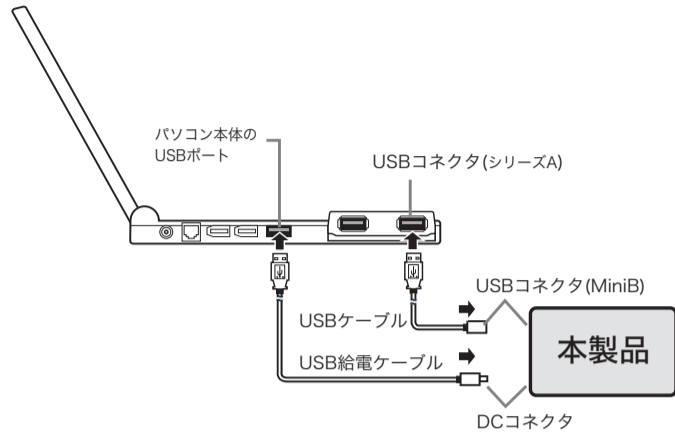
うら面も必ずお読みください ▶

USB給電ケーブルについて

次の場合は、付属のUSB給電ケーブルを本製品に接続してください。

●本製品をバスパワードハブ(ACアダプタなどの電源がないUSBハブ)に接続する場合
●パソコン本体のUSBコネクタの仕様により、本製品の動作に十分な電源供給が行われない場合
●PCカードのUSB2.0インターフェースと併用される場合

⚠注意 ・パソコンのUSBポートの仕様によっては、USB給電ケーブルを接続しても本製品が動作しないことがあります。その場合は、別売のACアダプタ（弊社製AC-DC5）をご使用ください。
・USB給電ケーブルは、必ずパソコン本体のUSBポートに接続してください。

※**接続例**(PCカードのUSBインターフェースを使用した場合)

取り外しかた

⚠注意 ・手順を守らないで取り外すと、本製品や記録されたデータが破損する恐れがあります。
・パソコンの電源がOFFのときは、そのまま取り外してください。

CDドライブモード変更スイッチが「1」のとき（Windowsのみ）

1 タスクトレイのアイコン をクリックし、［製品を取り外す］を選択します。

2 「プログラムを終了します。」と表示されたら［OK］をクリックし、下記「CDドライブモード変更スイッチが「OFF」または「2」のとき」の手順を行ってください。
※WindowsMe/98/98 Second Editionの場合は、安全に取り外すことができる旨のメッセージが表示されます。［OK]をクリックして本製品をパソコンから取り外してくだい（以下の手順は必要ありません）。

CDドライブモード変更スイッチが「OFF」または「2」のとき

使用しているOSによって、取り外しかたが異なります。次の手順で取り外してください。

●Windowsでの取り外しかた

1 タスクトレイのアイコン または または をクリックします。

2 表示されたメニューから次の項目をクリックします。

WindowsXP............［USB大容量記憶装置デバイス - ドライブ(X:)を安全に取り外します］
Windows2000............［USB大容量記憶装置デバイス - ドライブ(X:)を停止します］
WindowsMe............［USBディスク - ドライブ(X:)の停止］ または[USB CD-ROM- ドライブ(Y:)の停止]（表示された場合のみ）
Windows98/98 Second Edition...［ユニットドライブ名 (ドライブX)の停止］

※下線部XやYは、本製品に割り当てられているドライブ名が表示されます（複数表示されることもあります）。ユニットドライブ名は製品によって異なります。

3 安全に取り外すことができる旨のメッセージが表示されたら、WindowsXPでは ✕ を、Windows2000/Me/98/98 Second Editionでは[OK]をクリックします。
※WindowsMeでCDドライブモード変更スイッチを「2」にしている場合は、手順1〜3の操作を2回行う必要があります。ご注意ください。

4 本製品をパソコンから取り外します。

●Mac OSでの取り外しかた

1 デスクトップにある本製品のアイコン または をゴミ箱にドラッグ＆ドロップします。

2 本製品をパソコンから取り外します。

仕様

メモ **最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。**

準拠規格	USB Specification Rev.2.0
コネクタ	USBコネクタ(Mini-B)
データ転送速度(理論値)	最大480Mbps(※)
電源	5V±5%
消費電力	2.5W(平均)
動作環境	温度：5〜35℃、湿度：20〜80%(結露なきこと)
出荷時フォーマット形式	FAT32(1パーティション)
対応OS	WindowsXP（Media Center Edition 2004/2005を含む）/2000、WindowsMe（Millennium Edition）/98SE（Second Edition）/98、Mac OS 9.0.4以降、Mac OS X 10.0.4以降

※本製品を、USB2.0で規定されているHSモード（最大転送速度480Mbps）で使用するには、弊社製USB2.0インターフェース（またはUSB2.0に対応したパソコン本体）が必要です。

メモ Windowsをお使いの場合、本製品を接続するとデバイスマネージャ(※1)に次のデバイスが追加されます(CDドライブモード変更スイッチが｢OFF｣のとき)。

使用OS	追加場所	追加デバイス名
WindowsXP/2000	ディスクドライブ USB(Universal Serial Bus)コントローラ	ユニットドライブ名 USB大容量記憶装置デバイス
WindowsMe	ディスクドライブ ユニバーサル シリアル バス コントローラ 記憶装置	ユニットドライブ名 USB大容量記憶装置デバイス(※2) USBディスク
Windoiws98 /98 Second Edition	ディスクドライブ ハードディスクコントローラ ユニバーサル シリアル バス コントローラ	ユニットドライブ名 USB2-IDE Mass Storage Controller USB2-IDE Bridge Adapter

※1 デバイスマネージャは次の方法で表示できます。
WindowsXP/2000
[マイ コンピュータ]（WindowsXPの場合は[スタート]−[マイ コンピュータ]）右クリック→[管理]をクリック→[デバイス マネージャ]をクリック
WindowsMe/98/98 Second Edition
[マイ コンピュータ]右クリック→[プロパティ]をクリック→[デバイス マネージャ]をクリック

※2 緑色の丸に白字で？と表示されます。これはWindows付属の汎用ドライバがインストールされたためです。本製品は正常に動作していますので、そのまま使用してください。

フォーマット(初期化)について

Windows

本製品は出荷時にフォーマットされていますので、改めてフォーマットし直す必要はありません。

Mac OS 9.0.4〜9.2.2

Mac OSのフォーマット機能でフォーマットします。

フォーマットの画面を表示するには、デスクトップにある本製品のアイコン をクリックし、[特別]-[ディスクの初期化]を選択します。以降の手順は、Mac OSのヘルプを参照してください。

⚠注意 **・必ずMacOS拡張形式でフォーマットしてください。他のフォーマット形式は弊社の動作保証外となります。**
・フォーマットするときだけ、「File Exchange」を停止する必要があります。［アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[機能拡張マネージャ]内の[File Exchange]を「停止」に設定してください。設定後に、「ディスクを初期化しますか」と表示されることがあります。「ディスクを初期化しますか」と表示されたときは、画面に従って本製品を初期化してください。

Mac OS X 10.0.4以降

Mac OS付属の「Disk Utility」でフォーマットします。
Disk Utilityを起動するには、起動ディスク（MacintoshHDD）の中の[Applications]-[Utilities]-[Disk Utility]をダブルクリックします(※)。以降の手順は、Mac OSのヘルプを参照してください。
※Mac OS X 10.0.4の場合は、続いて[Drive Setup]をクリックしてください。

⚠注意 **MacOS上でフォーマットするときは、必ずMacOS拡張形式でフォーマットしてください。他のフォーマット形式は弊社の動作保証外となります。**

こまったときは

本製品を使用してトラブルが発生したときの対処方法を説明しています。

パソコンが起動しない／本製品が正しく認識されない

本製品を取り付けてパソコンが起動しなくなってしまったときや、本製品を取り付けても「マイ コンピュータ」や「デスクトップ」にアイコンが表示されないときの原因と対処方法を説明しています。

●本製品が正しく取り付けられていない
本製品を取り付け直してください。

●CDドライブモード変更スイッチの設定が間違っている（Windows2000 Service Pack2以前、Macintosh）
本製品を一旦取り外し、CDドライブモード変更スイッチを「OFF」にしてください。その後、再度パソコンに接続してください。

●パソコンのUSBコネクタが故障している
本製品を他のUSBコネクタに取り付けてください。

●ファイルシステムに異常がある
本製品を取り付け直してください。再度異常が発生する場合は、本製品をフォーマット(初期化)してください。Windowsの場合は、付属ソフト「DiskFormatter」でフォーマットしてください。Macintoshの場合は、上記「フォーマット（初期化）について」の方法でフォーマットしてください。
⚠注意 **フォーマットすると、本製品に記録されているすべてのデータが消去されます。**

●本製品の動作に必要な電源供給が不足している
電源供給が不足すると、本製品を認識できなかったり、異音がすることがあります。
本紙「USB給電ケーブルについて」を参照して、付属のUSB給電ケーブルを接続してください。USB給電ケーブルを接続しても本製品が動作しないときは、別売のACアダプタ(AC-DC5)をご使用ください。

付属ソフトをインストールできない（Windowsのみ）

付属ソフトをインストールするには、本製品のCDドライブモード変更スイッチを「1」にする必要があります。本製品をパソコンから取り外し、CDドライブモード変更スイッチを「1」にしてください。インストール方法は、P3「付属ソフトについて」を参照してください。

ドライバをダウンロードできない（Windows98/98 Second Editionのオートドライバインストール）

ドライバをダウンロードできない（インターネットに接続できない）場合は、以下の手順でドライバをインストールしてください。なお、以下の手順は、パソコンを起動した後に行ってください。

⚠注意 **以下の手順を行う前に、アプリケーションやウィンドウを全て終了してください。アプリケーションが動作していたりウィンドウが開いていたりすると正しくインストール作業ができません。**

①付属のUSBケーブルを使って、ハードディスクをパソコンのUSBコネクタに接続します。
②「次の新しいドライバを検索しています：USB2.0-IDE Bridge Adapter（または、USB 2.0 Device）」と表示されたら、[キャンセル]をクリックして約1分間待ちます。
③「次の新しいドライバを検索しています：ヒューマンインターフェースデバイス」と表示されたら、[次へ]をクリックします。
④「検索方法を選択してください」と表示されたら、「使用中のデバイスに最適なドライバをインストールする（推奨）」を選択し、[次へ]をクリックします。
⑤すべてのチェックを外し、[次へ]をクリックします。
⑥[次へ]をクリックします。
⚠注意 **WindowsのCDを要求された場合は、画面の指示に従ってWindowsのCDをパソコンにセットしてください。**
⑦[完了]をクリックします。
⚠注意 **完了をクリックしたら「インストール完了です」と表示されるまで（約6分間）絶対にキーボードを押したり、マウスをクリックしたりしないでください。キーボードやマウスの操作を行うと、正しくインストール作業ができません。**
⑧自動的にドライバがインストールされます。「インストール完了です」と表示されるまでしばらくお待ちください。
ドライバのインストール中に「ファイル名を指定して実行」の画面やMS-DOSプロンプトの画面（黒い画面）が複数回表示されます。画面が表示されたまま１分程度変化がないことがありますが、そのままお待ちください。また、インストール中は、キーボードのScroll Lockランプが点滅します。
⚠注意 **画面の表示が5分以上停止している場合は、本製品をパソコンから取り外した後、パソコンを再起動してください。パソコンを再起動した後は、再度手順①から行ってください。**
⑨「インストール完了です」と表示されたらインストール完了です。[OK]をクリックしてください。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
■本製品は一般的なオフィスのOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
■本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。
■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記載されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限といたします。
■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

Windowsをお使いの方へ

ここではCDドライブモード変更スイッチを「1」にしたときの使いかたを説明します。

モバイルランチャーを使ってみよう

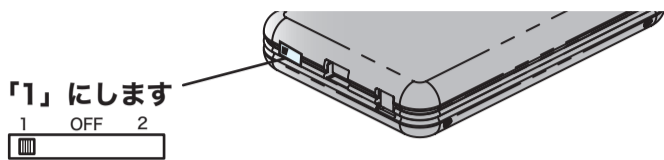
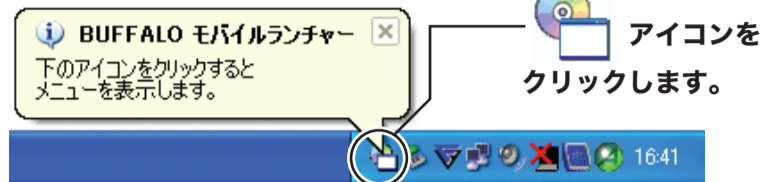
BUFFALOモバイルランチャーでいろいろなユーティリティを起動する手順を説明します。

1 CDドライブモード変更スイッチを「1」に設定した後、本製品をパソコンへ接続します。

2 タスクトレイの アイコンをクリックします。

BUFFALO モバイルランチャー
下のアイコンをクリックすると
メニューを表示します。

アイコンを
クリックします。

16:41

※アイコンが表示されない場合は、［マイコンピュータ］の［Utillity］（CD-ROMドライブ）内にある［MobileLaunch.exe］をダブルクリックしてください。

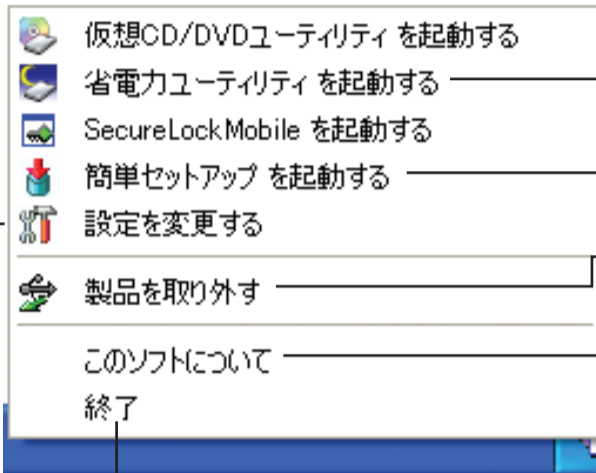
3 起動したいユーティリティをクリックします。

メニュー：仮想CD/DVDユーティリティ を起動する／省電力ユーティリティ を起動する／SecureLockMobile を起動する／簡単セットアップ を起動する／設定を変更する／製品を取り外す／このソフトについて／終了

仮想CD/DVDユーティリティを起動する
本製品内に仮想のCD/DVDドライブを作成するソフトを起動します。CDやDVDのデータを本製品に登録すれば、本製品をCDやDVDの代わりとして使用することができます。そのため、実際のCDやDVDを持ち運ぶ手間がなくなります。

SecureLockMobileを起動する
AES暗号化ソフトを起動します。データをフォルダに移動する感覚で暗号化することができます。元のデータを読み出すには、パスワードが必要になるため、万一、紛失や盗難にあった場合でも外部へのデータ流出を防ぐことができます。
詳しくは、別紙「SecureLockMobileで暗号化しよう」を参照してください。

設定を変更する
本製品を接続したとき（CDドライブモード変更スイッチが「1」の場合のみ）に、本製品が割り当てられたドライブを案内する画面を表示させるか設定できます。

終了
ソフトを終了します。再度このソフトを起動したい場合は、本製品を一旦取り外した後、再度接続してください。

省電力ユーティリティを起動する
省電力ユーティリティを起動します。省電力ユーティリティとは、一定時間ハードディスクへのアクセスがない場合に、ハードディスクを省電力状態（回転を停止させて消費電力を抑える）にするユーティリティです。

簡単セットアップを起動する
付属ソフトのインストールやマニュアルを見ることができます。

製品を取り外す
本製品をパソコンから取り外すときにクリックします。

このソフトについて
ソフトのバージョンを表示します。

18:42

「DATA」フォルダを削除・変更しないでください。

本製品のハードディスク内にある「DATA」フォルダを削除・変更しないでください。このフォルダには、仮想CD/DVDユーティリティで作成したCD/DVDイメージやSecureLockMobileで暗号化したデータが保存されます。削除・変更した場合、データを読み出せなくなることがありますのでご注意ください。また、フォーマットする場合は、あらかじめバックアップすることをお勧めします。

付属ソフトについて

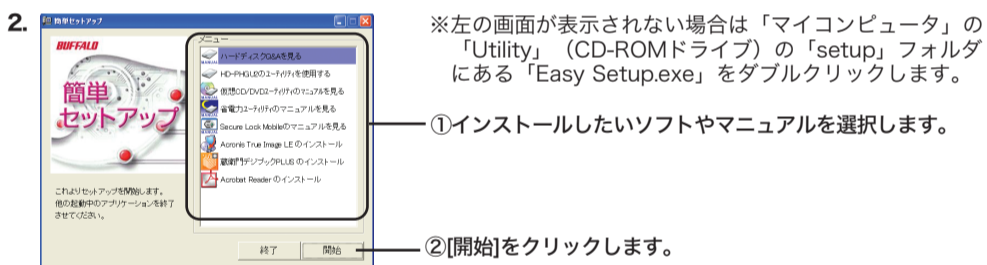
簡単セットアップから付属ソフトウェアのインストールやマニュアルを表示できます。

1. 上記「モバイルランチャーを使ってみよう」の手順で「簡単セットアップ」を起動します。

2.

※左の画面が表示されない場合は「マイコンピュータ」の「Utility」（CD-ROMドライブ）の「setup」フォルダにある「Easy Setup.exe」をダブルクリックします。

①インストールしたいソフトやマニュアルを選択します。

②[開始]をクリックします。

以降は画面の指示に従って操作してください。

※マニュアルを読むには、Acrobat ReaderまたはAdobe Readerがパソコンにインストールしてある必要があります。Windowsをお使いの場合は、上記の手順で（簡単セットアップから）インストールできます。
※ Acrobat ReaderまたはAdobe Readerの使いかたは、ヘルプを参照してください。
※ 画面上で見づらいときは、紙に印刷してお読みください。

Acronis True Image LEのシリアルナンバー

Acronis True Image LEをインストールする場合は、シリアルナンバーを要求されます。以下の番号を入力してください。

付属ソフトの概要

■Acronis True Image LE
Acronis True Image LE（以後「True Image LE」と記載）は、バックアップソフトです。データのバックアップだけでなく、お使いの環境をそのままバックアップすることもできます。使い方は、True Image LEのユーザーズガイド（PDFファイル）を参照してください。True Image LEのユーザーズガイドは、[スタート]−[（すべての）プログラム]−[Acronis]−[TrueImage]−[Acronis TrueImage LE ユーザーズガイド]をクリックすると表示されます。

■DiskFormatter
フォーマットソフトです。DiskFormatterを使用すれば、ハードディスクなどのドライブ機器を簡単にフォーマットすることができます。

注意
・DiskFormatterでフォーマットするときは、CDドライブモード変更スイッチを「OFF」にしてください。「OFF」にしないと正常にフォーマットできないことがあります。
・FAT32形式でフォーマットした場合、1ファイルの最大容量は4GBとなります。WindowsXP/2000をお使いの場合は、Windowsの機能「ディスクの管理」でNTFS形式でフォーマットすることにより、1ファイルが4GB以上のファイルでも保存できます。
・WindowsXP/2000の機能「ディスクの管理」でFAT32形式フォーマットする場合、32.7GB(32700MB)以上の領域はフォーマットできません。32.7GB以上の領域をフォーマットする場合は、ファイルシステムを[NTFS]に指定するか、DiskFormatterでフォーマットしてください。

■簡単バックアップ
簡単バックアップはフォルダごとにデータをバックアップするソフトです。スケジュール起動で、決まった時間にバックアップすることも可能です。

■SecureLockWare（WindowsXP/2000のみ）
WindowsXP/2000専用AES暗号化ソフトです。SecureLockWare で本製品にパスワードを設定しておけば、本製品に書き込まれるすべてのデータが自動的に暗号化されます。本製品に記録されたデータの読み出しには、パスワードが必要になるため、万一、紛失や盗難にあった場合でも外部へのデータ流出を防ぐことができます。

注意 本製品を暗号化した場合、仮想CD/DVDユーティリティや省電力ユーティリティを使用できません。これらのソフトを使用するときは、SecureLockWareのかわりにSecureLockMobileで暗号化してください。

■蔵衛門デジブックPLUS
デジタルカメラなどで撮影した画像データから簡単にオリジナルのアルバムを作成できるソフトです。
詳しくはヘルプを参照してください。ヘルプは、[スタート]-[（すべての）プログラム]-[蔵衛門デジブックPLUS]-[蔵衛門デジブックPLUSヘルプ]を選択すると表示されます。

メモ
・ヘルプは、蔵衛門デジブックPLUSのインストール後に表示できるようになります。
・ヘルプを表示するには、インターネットに接続できる環境が必要です。

※"蔵衛門""デジブック"は株式会社トリワークスの登録商標です。

バックアップについて

メモ 「True Image LE」や「簡単バックアップ」の使い方は、各ソフトのマニュアルを参照してください。マニュアルの読み方は、「付属ソフトについて」を参照してください。

バックアップ

ハードディスクに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。定期的にバックアップすることをお勧めします。
本製品では、バックアップソフト「True Image LE」や「簡単バックアップ」を付属しております。ハードディスクのデータを全てバックアップする場合や、OSなどのシステムファイルをバックアップする場合は、True Image LEを使用してください。ファイルやフォルダ単位でのバックアップをする場合は、簡単バックアップを使用してください。

バックアップデータの復元（リストア）

バックアップデータを元のハードディスクに復元することをリストアといいます。
バックアップを作成したソフトでリストアすることができます。

本製品からバックアップソフト（True Image LE）を起動するには？（パソコンがUSB CD-ROMドライブからの起動に対応している場合のみ）

パソコンがUSB CD-ROMからの起動に対応している場合は、本製品からTrue Image LEを起動して、バックアップやリストアをすることができます。以下の手順で行ってください。

注意 事前にパソコンのマニュアルを参照し、USB CD-ROMドライブ（お使いのパソコンによって名称が異なります）が起動ドライブになっていることを確認してください。お使いのパソコンがUSB CD-ROMドライブからの起動に対応していない場合は、本製品からTrue Image LEを起動することはできません。お使いのパソコンがUSB CD-ROMドライブからの起動に対応しているかどうかは、パソコンメーカーにお問い合わせください。

メモ True Image LEはパソコン（Windows）からでも起動できます。

1. パソコンの電源をOFFにします。

2. 本製品のCDドライブモード変更スイッチを「1」にします。

3. 本製品をパソコンに取り付けます。

4. パソコンの電源をONにします。

以上でTure Image LEが起動します。

注意 True Image LEが起動しない場合は?

対策①
パソコンを再起動してください。再起動後、True Image LEが起動します。

対策②
USB CD-ROMドライブが起動ドライブになっていることを確認してください。USB CD-ROMドライブを起動ドライブにする方法は、パソコンのマニュアルを参照してください。なお、USB CD-ROMドライブを起動ドライブにできないパソコンでは、本製品からTrue Image LEを起動することができません。パソコン（Windows）にTrue Image LEをインストールした後、パソコンから起動してください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、データの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△⃠● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。（例：⚠感電注意)
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：⃠分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

強制 本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。

分解禁止 本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

禁止 AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。
海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制 電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁止 電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。
- 設置時に、電源ケーブルを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強制 電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。
さわってけがをする恐れがあります。

強制 小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

禁止 濡れた手で本製品に触れないでください。
電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く 煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにパソコン及び周辺機器の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止 風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。
火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く 本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止 ACアダプタや電源ケーブルや接続ケーブルは、必ず付属品（または指定品）をご使用ください。
付属品（または指定品）以外をご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあります。この場合、発煙や発火の恐れがあります。本製品の故障の原因ともなります。

⚠ 注意

禁止 ハードディスク、MO、フロッピーディスクドライブなどのデータ格納機器へのアクセス中は、パソコンや機器の電源をOFFにしたり、リセットしたりしないでください。
データを消失、破損する恐れがあります。バックアップ作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制 静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

禁止 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本製品は精密機器ですので、衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。本製品の故障の原因となります。

禁止 次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。
- 強い磁界、静電気が発生するところ
- 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ほこりの多いところ →故障の原因となります。
- 振動が発生するところ →けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ →転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ →故障や変形の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ →故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ →故障や感電の原因となります。

強制 パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

強制 本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制 各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。
故障の原因となります。

禁止 本製品の上に物を置かないでください。
傷がついたり、故障の原因となります。

禁止 通風口をふさいだり、他の機器と密着させないでください。
故障の原因となります。

禁止 パワー・アクセスランプが点滅している間は、電源スイッチをOFFにしたり、システムをリセットしたりしないでください。

禁止 ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア（フロッピーディスク、MOディスク等）にバックアップしてください。
とくに、修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前、更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。次のような場合に、データが消失、破損する恐れがあります。
- 誤った使い方をしたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 故障、修理などのとき
- パソコンの電源スイッチをOFFにした直後に、すぐに電源スイッチをONにしたとき
- 天災による被害を受けたとき

上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制 電源スイッチのON/OFFは、少なくとも数秒の間隔をあけて行ってください。
本製品の故障、データの消失、破損の恐れがあります。

禁止 シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。
本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

禁止 本製品内部からの放熱により製品が少し熱くなりますが、異常ではありません。熱がこもると故障の原因となりますので、製品使用中は布などかぶせないようにしてください。

強制 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

「True Image LE」の操作方法や製品の情報は、下記株式会社プロトンまでお問い合わせください。
お問い合わせ先　株式会社プロトン

【サポート情報】
インターネット：http://www.proton.co.jp/support/personal/
TEL：0570-032610(携帯電話・PHSでは繋がりません)
受付時間 月〜金曜日 09:00〜17:00
（夏季・年末年始・特定休業日・祝祭日を除く）
※サポートセンターのご利用にはプロトン社のソフトウェアのユーザ登録が必要になります。ユーザ登録をすることにより、バージョンアップ情報やその他プロトン製品のお得な優待販売のお知らせなどが届きます。（希望する場合のみ）

【ユーザ登録】
https://www.proton.co.jp/cgi/buffalo_s/
※登録後、サポートを受ける際に必要になる製品シリアルが発行されます。
※プロトン社のソフトウェアと製品本体（株式会社バッファロー）のユーザ登録は別々に行う必要があります。バッファローのユーザ登録も忘れずに行ってください。

「蔵衛門デジブックPLUS」の操作方法や製品情報は、下記窓口までお問い合わせください。
下記窓口をご利用になるには、蔵衛門デジブックPLUSのオンラインユーザ一登録が必要です。
FAX：03-5468-1250（24時間受付）
E-Mail：support@triworks.com（24時間受付）
ホームページ：　くらえもん.com(http://www.kuraemon.com/)

株式会社バッファローでは、「True Image LE」、「蔵衛門デジブックPLUS」に関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ・修理窓口

お問い合わせ、修理については、以下の順にてお願い致します。

1 マニュアル、オンラインガイドにて設定内容・トラブルシューティングをご確認ください。

2 弊社ホームページにて最新Q&A情報、最新ドライバ・ファームウェアをご確認ください。
インターネット　製品情報　buffalo.jp
サポート情報　86886.jp（ハローバッファロー）

3 上記で改善しない場合は、次の窓口にお問い合わせください。
バッファローサポートセンター
お問合せの際は、以下「必要な情報」③〜⑦をあらかじめご確認ください。
電話でのお問い合わせ先　※電話番号のお掛け間違いがないようご注意ください。

【電話窓口】

東京第一センター	03-5781-7260	月〜金 9：30〜19：00	土 9：30〜18：00
東京第二センター	03-5365-3101	月〜金 9：30〜19：00	土 9：30〜18：00
IP電話	050-3101-0084	月〜金 9：30〜19：00	土 9：30〜18：00
名古屋	052-619-1188	月〜金（祝日除く）9：30〜17：00	

手紙でのお問い合わせ先　住所　〒457−8570　名古屋市南区豊田3−3−5

4 修理は以下へご依頼ください。　※修理に送られる際、弊社への事前連絡は不要です。
バッファロー修理センター
保証書について　修理送付前に本製品添付の保証書記載の保証契約約款をよくお読み下さい。
修理web予約　弊社ホームページより修理のweb予約、受付けた修理品の状況確認が可能です。
http://buffalo.jp/shuri/
送付先住所　〒457−8570　愛知県名古屋市南区豊田3−3−5
株式会社バッファロー修理センター受付宛
電話番号　052-698-7330　※ご依頼の修理品に関するお問合せのみ承っております。
月〜金（祝日を除く）　9:30〜12:00　13:00〜17:00
送付いただく物　本製品、本製品付属品、保証書（原本）、修理票(*)
*修理票は弊社ホームページよりダウンロード可能です。修理票を添付できない場合は、以下「必要な情報」を記載した資料を製品と一緒にお送りください。

【注意事項】
※発送は宅配便等控えが残る方法にてお送りください。控えが残らない郵送は固くお断りします。
※修理依頼時の送料は、送り主様の負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故においては、弊社は責任を負いかねます。輸送会社に保証していただくなどの措置をお取りください。
※ハードディスク、フラッシュメモリ等の記憶装置内のデータは保証できませんので、修理に送付される前に予めお客様にてバックアップをとっていただきますようお願いします。
※AirStation、BroadStation、LinkStation、TeraStationは、修理の際に出荷時の状態に戻す為、設定内容（接続ユーザ名/パスワード/無線暗号キー（WEP）等）を消去します。
修理完了後、再度設定が必要となりますので、ご送付前に必ず設定内容を控えてください。
※修理期間は、製品の到着後10日程度（弊社営業日数）を予定しております。

5 ユーザ登録について
弊社ホームページ（https://online.buffalo.jp/）でユーザ登録が可能です。
※ユーザ登録された方には、弊社製品に関する情報をお届けします。

必要な情報
①返送先（氏名・住所・電話番号(内線)・FAX番号)
②平日昼間の連絡先
（氏名・住所・電話番号(内線)・FAX番号）
③バッファロー製品名
④バッファロー製品のシリアルナンバー
⑤具体的な症状／エラーメッセージ
⑥発生状況（初めから・ある日突然等）、
発生頻度（必ず、時々、時間が経つと等）
⑦ご使用環境(パソコン機種名、OS(Windows XP等)、周辺機器)
⑧製品以外の添付品(ACアダプタ、ケーブルなど)

※受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は、弊社ホームページでご確認ください。
※This product supports only Japanese language.
Technical and customer support is limited to Japan only.
This product supports Japanese language Operating Systems ONLY.

HD-PHGU2/UCシリーズユーザーズマニュアル　2005年11月25日　初版発行
発行　株式会社バッファロー
PY00-31195-DM10-01　1-01　C10-009